

「京都の奥、 京都の闇」



「京都のいけず」ってほんと？ 京都人のわかりにくい気質をめぐってさまざまな京都人論が話題をよんでいます。自ら京都人でありながらベストセラー『京都ざらい』を出版、独自のユニークな視点から京都人論を展開する国際日本文化研究センター教授の井上章一氏を講師に招き、京都の「ここだけの話」を語っていただきます。

日時：2016年12月14日（水）

3限目 13：15～14：45

場所：大教室棟（6号館）516教室

講師：井上章一氏（国際日本文化研究センター教授）

1955年京都府生まれ。京都大学工学部建築学科卒業，同大学院修士課程修了。

現在，国際日本文化研究センター教授。

専門の建築史，意匠論のほか，日本文化に精通し，斬新な切り口から研究を展開。関西文化論，美人論など多岐に亘る発言でも知られている。

著書多数。『つくられた桂離宮神話』（弘文堂 1986年）でサントリー学芸賞，『南蛮幻想—ユリシーズ伝説と安土城』（文藝春秋 1998年）で芸術選奨文部大臣賞，『京都ざらい』（朝日新書 2015年）で「新書大賞 2016」（中央公論新社主催）の大賞を受賞。

締切：

12/7（水）

参加申込

<https://post.kyoto-su.ac.jp/s/wform/moshikomi/event/400C0004.php>

応募者多数の場合は、抽選となります。

